

1. 科目名 (単位数)	基礎演習 I (1 単位)		3. 科目番号	GEBS1108
2. 授業担当教員	加藤 日出海			
4. 授業形態	演習・ディスカッション・グループ発表		5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係				
7. 講義概要	<p>心理学とはどのような学問領域なのか、また、主な研究テーマや研究方法にはどのようなものがあるのかについて体験的に理解することを目標とする。</p> <p>具体的には身近なテーマについて、質問紙法、実験法、観察法、事例研究といった心理学における代表的な研究方法を用いた簡単な演習を通して、自分自身の心理的特徴について理解し、あわせて基礎的な知識や技術を習得する。</p>			
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 心理学という学問領域、主な研究テーマ、研究方法について説明することができる。 2. データ (事実) に基づいて、理論的・批判的に考え、意見を述べることができる。 3. 心理学的なもの見方、考え方を日常生活で応用することができる。 4. 心理学を通して自己や他者、社会を理解することができる。 			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	授業で理解した内容をまとめる。質問紙作成法に際しては、下調べや作成作業を課題とする。			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】世界思想社編集部編『大学生の学びのハンドブック 5 訂版』世界思想社、2021。</p> <p>【参考書】日本心理学諸学会連合心理学検定局編『心理学検定基本キーワード [改訂版]』実務教育出版、2015。</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心理学という学問領域、主な研究テーマ、研究方法について説明することができるか。 2. データ (事実) に基づいて、理論的・批判的に考え、意見を述べることができるか。 3. 心理学的なもの見方、考え方を日常生活で応用することができるか。 4. 心理学を通して自己や他者、社会を理解することができるか。 <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度、日常の受講態度、テスト、レポート、発表等を総合して評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平常点 (授業態度・授業への参加など) 30% 2. 課題 (テスト・レポート・発表など) 70% <p>上記の他に、本学の規定に定められている 3/4 以上の出席が単位の取得条件であることも配慮する。</p>			
12. 受講生へのメッセージ	<p>対話型の授業を通して、心理学について体験的に理解を深める。様々な「問い」をたて、ひとつひとつしっかりと考えて自分なりの意見を持って欲しい。「なんとなくこう思う」だけではなく、「こういう理由でこのように考える」という論理を構築していくことが重要である。そのための知識と技術も必要に応じて身につけてもらうことを予定している。受講生の皆さんの積極的な参加を期待する。授業内容は受講生の皆さんの興味や理解度によって、適宜変更する可能性がある。</p> <p>以下の点について講義では守って欲しい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 講義に積極的に参加すること。積極的な姿勢を評価する。 2. 質問は講義内で受けつける。わからないことはそのままにせず、質問すること。 3. 他の受講者の迷惑となる行為 (遅刻、不必要な私語、携帯電話等) はしないこと。 			
13. オフィスアワー	初回講義時にお伝えします。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第 1 回	自己紹介、科目の紹介、ノートのとり方	事前学習	シラバスを確認して質問することを考えておく。テキスト第 1 章を読んでくる。	
		事後学習	理解した内容をノートにまとめる。	
第 2 回	資料の探し方	事前学習	テキスト第 6 章を読んでくる。	
		事後学習	課題をまとめてくる。	
第 3 回	テキストの読み方	事前学習	テキスト第 2・3 章を読んでくる。	
		事後学習	課題をまとめてくる。	
第 4 回	レポートの書き方	事前学習	テキスト第 4・5 章を読んでくる。	
		事後学習	課題をまとめてくる。	
第 5 回	心理学の基礎① 定義と領域	事前学習	心理学とは何か、どのような領域があるのか調べて考えておく。	
		事後学習	授業の内容をまとめる。	
第 6 回	心理学の基礎② 研究テーマと方法	事前学習	心理学の研究方法について調べておく。	
		事後学習	授業の内容をまとめる。	
第 7 回	質問紙法入門① 測定と (仮説的) 構成概念	事前学習	心理測定について調べておく。	
		事後学習	測定と (仮説的) 構成概念についてまとめる。	
第 8 回	質問紙法入門② 性格検査、心理測定尺度	事前学習	性格検査を行い検査の説明を読んでおく。	
		事後学習	心理測定尺度と質問項目の関係をまとめる。	
第 9 回	質問紙作成法① テーマ、目的、構成概念	事前学習	作成する質問紙のテーマと目的を考える。	
		事後学習	目的と測定する構成概念の関係を整理する。	
第 10 回	質問紙作成法② 構成概念、項目選定	事前学習	構成概念を測定できる質問項目を調べる。	
		事後学習	質問項目の内容をよく検討する。	

第11回	質問紙作成法③ 質問紙の試作と検討	事前学習	質問紙の試作をしてくる。
		事後学習	分析も含めた質問紙の完成形を考える。
第12回	質問紙作成法④ 質問紙の仕上げ、実施	事前学習	質問紙の修正点をまとめておく。
		事後学習	質問紙法を実施して結果を返しておく。
第13回	質問紙作成法⑤ 結果の分析、発表準備	事前学習	結果の分析を進めておく。
		事後学習	質問紙法の発表資料を作成する。
第14回	質問紙作成法⑥ 質問紙法の発表	事前学習	質問紙法の発表資料を作成する。
		事後学習	質問紙作成法の振り返りをまとめる。
第15回	全体のまとめ	事前学習	授業をふりかえり質問する事を考えてくる。
		事後学習	授業を通して得られた事を確認する。
期末試験			